

～スサノヲのヤマタノオロチ退治と改心～

たいじ

かいしん



タケハヤスサノヲノミコト



「娘がヤマタノオロチの生贊になってしまふ！」



アミナヅチ

テナヅチ

クシナダヒメ

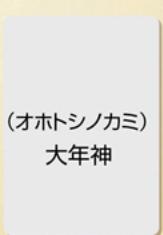


ヤマタノオロチ

目が真っ赤で、胴体に八つの頭と、八つの尾があり、その長さは八つの谷と八つの丘にまたがるほど巨大な怪物。

たかまがはら いづも
高天原を追放され、出雲の地に降り立ったタケハヤスサノヲノミコトは、泣いている老夫婦に出会います。その理由を聞くと、
いげにえ
「娘が怪物の生贊になってしまふ！」とのこと。タケハヤスサノヲノミコトは、酒を入れた八つの桶を置かせ、酒をのんで酔いつぶ
れられたヤマタノオロチを剣で切り刻み、殺します。この時、ヤマタノオロチの尻尾から剣が出てきます。これは、アマテラスオホミカ
ミに献上され、三種の神器の一つ、草那芸之大刀となります。
さんしゅ じんぎ くさなぎのたち
※別名「天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)」

やくも た いづも やえがき つま ご やえがき つく やえがき
「八雲立つ、出雲八重垣 妻籠みに、 八重垣作る その八重垣を」



タケハヤスサノヲノミコトは、須賀の地に降り、そこにお宮を作つて鎮まられます。そこで、日本で初めてとなる、和歌をお詠みになられます。